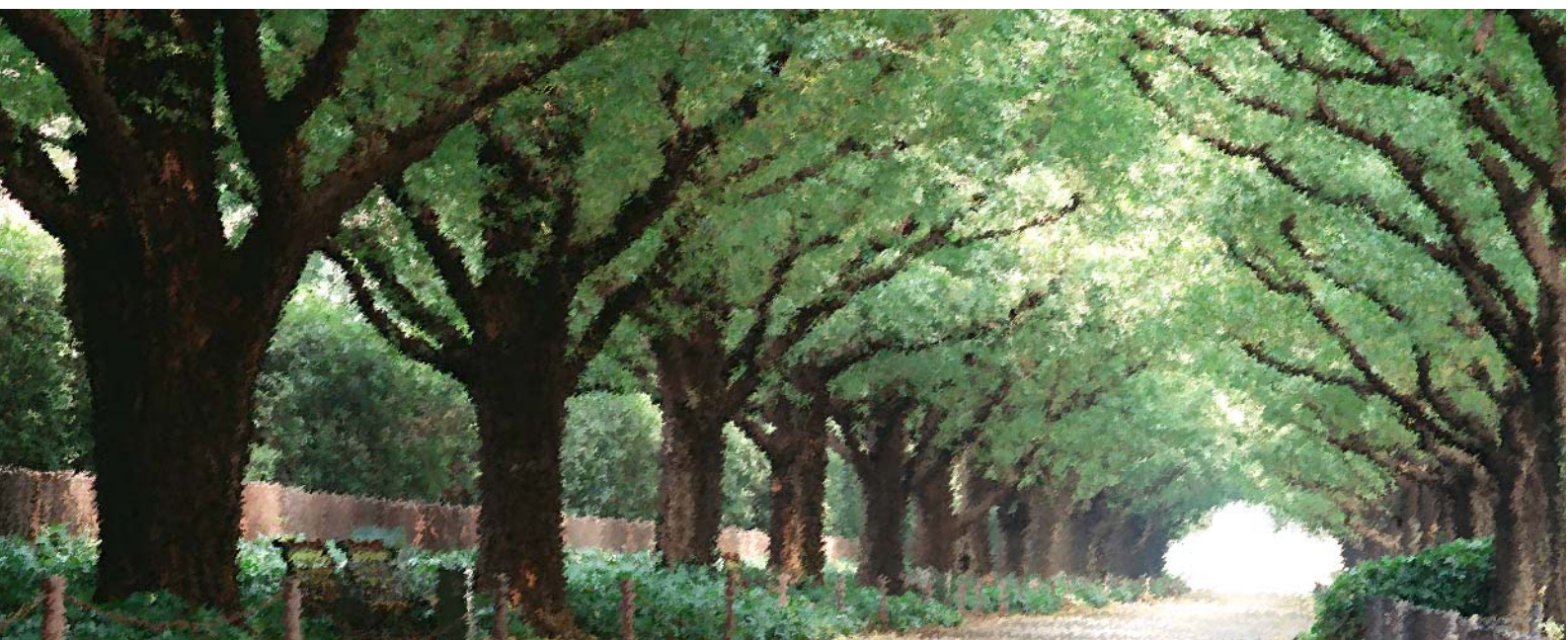


# 2010 環境報告書



Environmental Report 2010

兵神裝備株式会社

**第1章 概要**

ごあいさつ	1
環境方針	2
環境への影響	3
環境目的・目標と実績	4
プラスの環境目的・目標と実績	4

**第2章 環境マネジメントシステム**

環境管理体制	5
監査結果	6

**第3章 環境負荷低減への活動**

製品組立工場に作業ルームを設置	7
技術研究所にファンコイルを増設	7
環境・安全に配慮した新しい営業展示車	7
「環境の日」に滋賀工場で環境大会を実施	8

**第4章 地域社会とのコミュニケーション**

インターンシップの学生を受け入れ	9
市民救命士の講習実施	9
高月町の小学6年生が滋賀工場を見学	9
滋賀工場に県から優秀自衛消防隊表彰	9

**第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表**

環境パフォーマンス実績表(本社)	10
環境パフォーマンス実績表(営業部)	11
環境パフォーマンス実績表(滋賀工場)	12

環境保全活動のあゆみ	13
------------	----

**アンケート****編集方針・報告書の範囲**

<b>編集方針</b>	「環境報告書2010」は、環境省が発行した「環境報告書ガイドライン」を参考に編集しています。また、環境目的・目標や具体的な取り組み状況、サイト別の環境パフォーマンスについては、できるだけ写真やグラフを活用いたしました。
<b>対象期間</b>	2009年度(2009年1月1日～2009年12月31日)
<b>対象範囲</b>	この環境報告書は、下記事業所すべてを対象範囲としています。 <b>■兵神装備株式会社</b> 本社、滋賀工場、技術研究所、サービスアネックス、東京支店、大阪支店、さいたまオフィス、横浜オフィス、名古屋営業所、福岡営業所 <b>■ヘイシンテクノベルク株式会社</b> 本社、滋賀工場
<b>発行部署</b>	兵神装備株式会社 全社環境事務局 〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町1-1-54 TEL:078-652-1111 FAX:078-652-4504
<b>発行日</b>	2010年12月20日(次回発行予定:2011年12月)



## 兵神装備株式会社

代表取締役社長 小野純夫

2009年は、金融危機に端を発した世界同時不況の中、アメリカで1月にオバマ政権が誕生し、環境分野への重点的な投資で景気回復や雇用創出を図る「グリーンニューディール政策」が強力に推進されました。これが各国にも波及し、中国や韓国でも同様の動きが広がっています。

わが国においてもグリーン家電を対象とする「エコポイント制度」や「エコカー減税」の導入により、省エネを促進しつつ、買換え需要を刺激し、環境負荷低減と景気回復を両立させようとする政策が目立つ一年となりました。

このような状況下、当社では職場環境の改善と省エネを両立させる試みを推進しています。工場においては、ポンプ組立作業や運転検査・仕上げ作業を行うためのスペース（作業ルーム）を新たに設置しました。従来、工場内は天井が高く空間が広いいため、エアコンや照明に無駄なエネルギーを消費しがちでしたが、作業スペースをコンパクトに仕切ることによって熱効率をアップさせました。さらに地下水を利用して冷風を送るファンコイルの導入や、床・窓への断熱材の活用により、職場の快適さを向上しつつ、一気に省エネを押し進めることができました。

また、営業展示車2台を新たに導入しました。ここでは駆動装置の軽量コンパクト化、発電機のインバーター化などで環境負荷を低減しつつ、合わせて運転時の安全性を確保した設計となっています。

次に事業面では、浄水場における飲料水の殺菌やpH調整のために、高精度な薬品注入を行うポンプユニット「ヘイシモノポンプ 薬注ユニット オールinワン」を発売しました。安全で美味しい水を供給する役割を担う同製品は、その機能性、デザイン性が高く評価され、平成21年度グッドデザインひょうご「産業・ビジネス部門賞」を受賞しました。

他方、地元小学生の工場見学や、インターンシップの学生受け入れ、あるいはAED（自動体外除細動器）を用いた心肺蘇生法を身に付ける講習を社員が受講するなど、地域社会とのつながりを深める動きも引き続き推進いたしました。

この報告書をお読みいただくことで、当社の環境保全や社会貢献の取組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

## 環境理念

当社は、地球環境保全を人類共通の最重要課題と認識し、環境にやさしい製品づくりを通し、事業活動のあらゆる面で、「持続的発展が可能な社会」の構築に貢献いたします。

## スローガン

限りある資源を大切に、環境にやさしい製品を創り続けます。

## 基本方針

当社は、広く産業界で多様なニーズに応えるハイシンモノポンプの開発・生産・販売をしています。

そして、その事業活動において環境に影響を及ぼす可能性を持っています。

私たちは、これらの環境への負荷を削減するだけでなく良い影響を与えるための組織体制・管理システムを確立し、継続的に下記の活動に取り組んでいきます。

1. 下記の項目に目標を設定して取り組み、その達成状況を確認し、状況に応じて改善していきます。

① 廃棄物の削減及び適正処理

廃棄物の削減・分別収集、再利用の促進、適正処理を行います。

② 排水の適正処理

化学物質の適正処理、関連装置の改善により排出物の削減と適正処理に努めます。

③ 資源・エネルギーの効率利用

資源・エネルギーの効率的な利用により環境への負荷を削減し、資源のリサイクル活動・グリーン調達に努めます。

④ 環境にやさしい製品の設計・開発

有害物質を排除した製品や省エネ、長寿命化製品の設計・開発に努めます。

⑤ 環境製品の販売促進活動

省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売促進に努めます。

2. 環境法令・条例・協定、その他当社が受入を決めた要求事項に関し、社内自主基準を定め、徹底遵守いたします。

3. 環境教育、広報活動を行い、全社員が環境方針を理解し、環境保全意識の向上を図るよう努めます。

4. 緊急事態発生時の環境汚染被害を最小限にするため、予防・緊急時対応に万全を期します。

5. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、維持・改善に努めます。

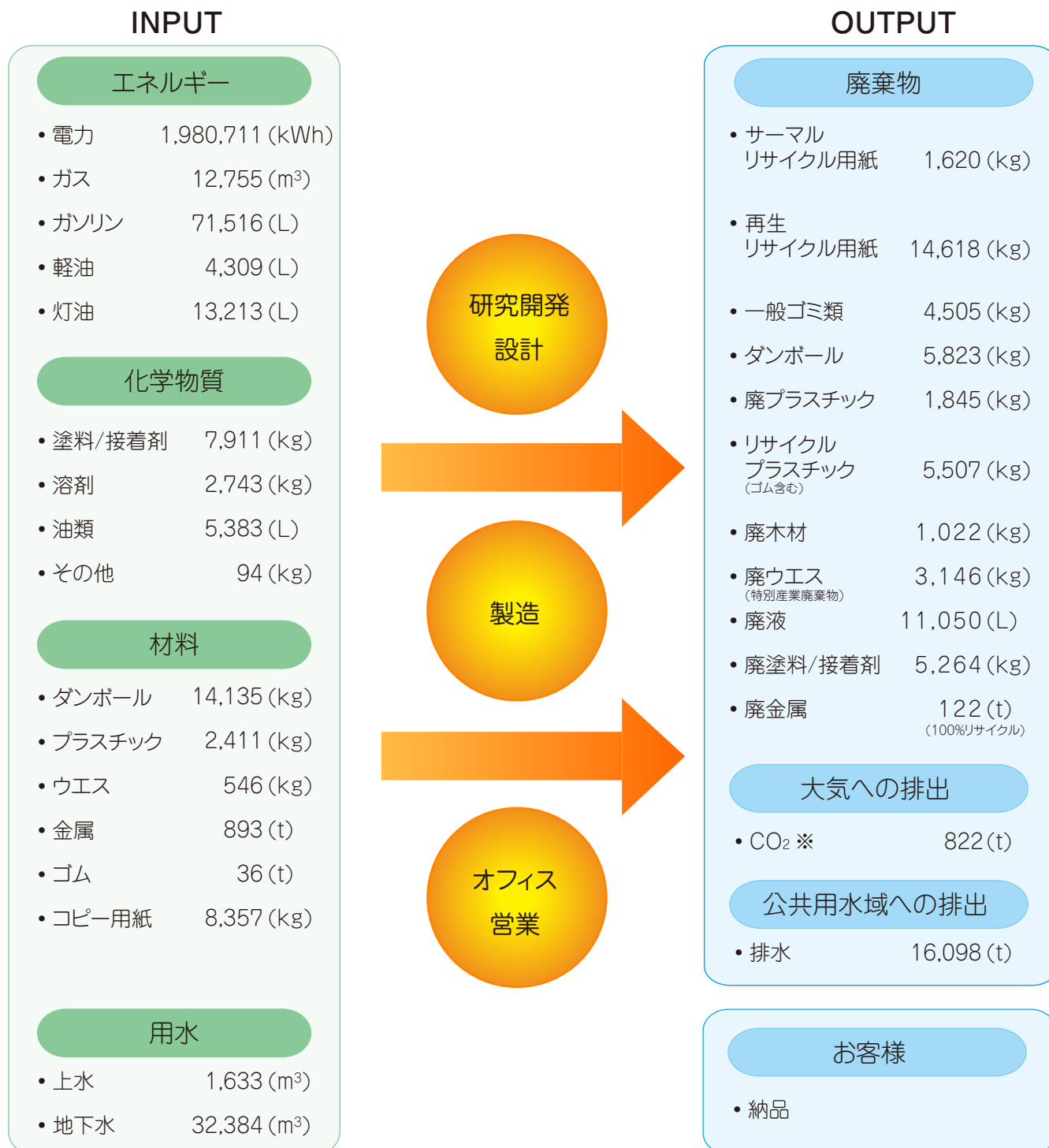
2003年1月

**兵神装備株式会社**  
**ハイシンテクノバルク株式会社**

代表取締役社長 小野 純夫

当社は、

- 「モノポンプ」専門メーカーとして、その研究開発・設計、製造、販売、メンテナンスサービスを行っています。
- 事業所内での諸活動による環境負荷は、エネルギー消費に伴う二酸化炭素排出、廃液、廃プラ、一般廃棄物が主なものです。
- 省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の管理を活動の柱とし、全社的なあらゆる活動において、環境負荷低減に取り組んでいます。



※CO<sub>2</sub>排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油、灯油の消費量をすべて換算し、合計しました。  
(各換算係数は、環境省ガイドライン、関西電力、大阪ガスのデータを参照しています。)

2009年度行動目的	2009年度目標 (対前年実績度比)	2009年度実績 (対目標比)	評価	2010年度目標 (対2009年度実績比)
無駄な消費電力の削減	2,073,580 kWh (2%削減)	1,980,711 kWh (4.5%削減)	○	1,941,096 kWh (2%削減)

評価 ○:目標(100%)達成 △:達成率70%以上 ×:達成率70%未満  
(2009年度目標を100として)

## プラスの環境目的・目標と実績

今年も昨年に引き続き、省エネルギー・省資源・長寿命化製品の開発・設計・製造・販売を推進しました。

### ◆「ヘイシンモノポンプ 薬注ユニット オールinワン」を発売

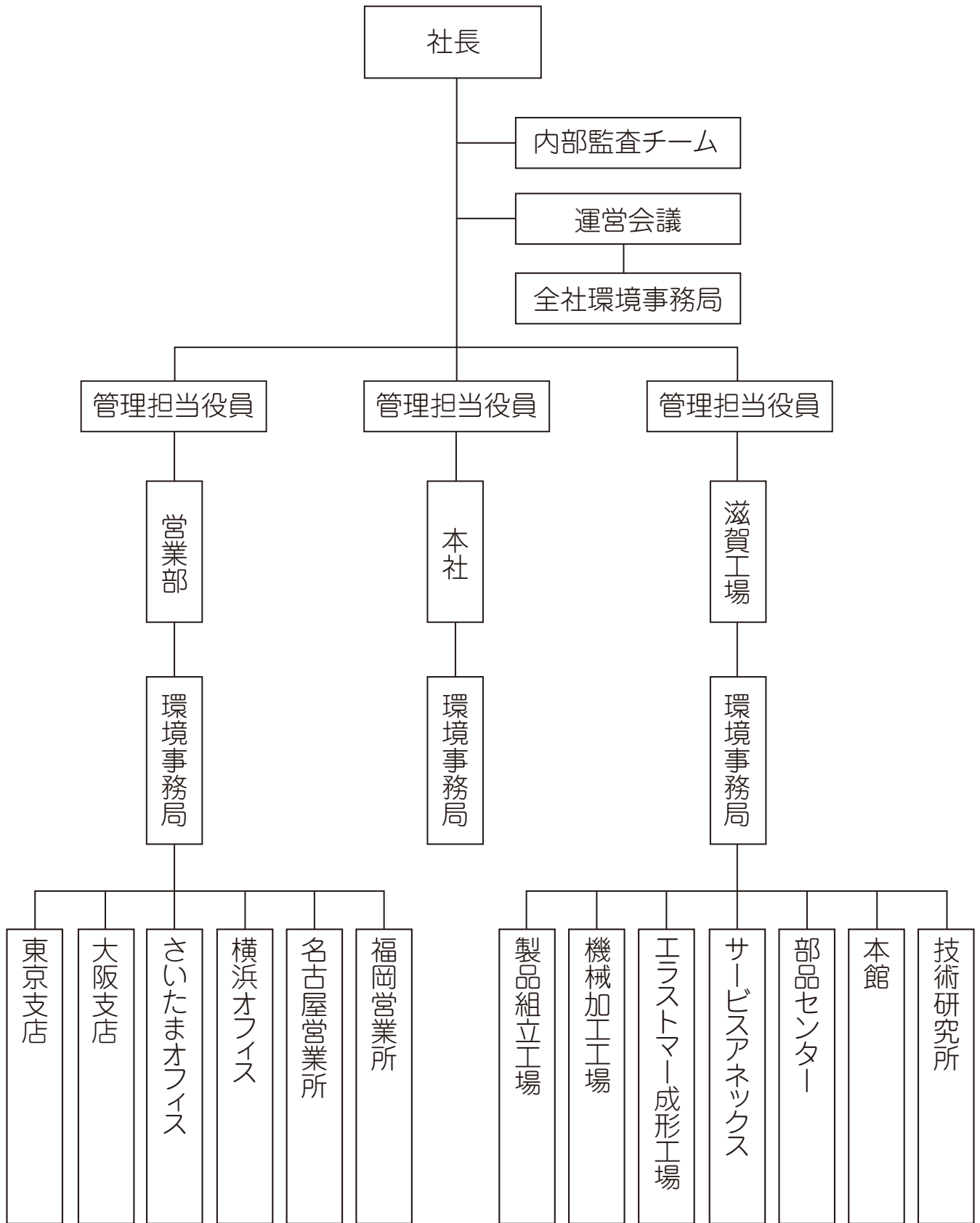
浄水場では、河川の水や地下水を浄化して飲み水(水道水)にするために各種の薬品を使用していますが、その薬品注入用ポンプ装置として「ヘイシンモノポンプ 薬注ユニット オールinワン」を開発し、このほど販売を開始しました。

この製品は、従来浄水場でご使用頂いている当社の薬品注入用ポンプを中核に、専用コントローラーや流量センサーなどを組み合わせることで、モノポンプの性能を最大限に発揮するユニットです。配管などのレイアウトを工夫し、コンパクトなボックスタイプに仕上げることで、作業の安全性を高め、設置場所の省スペース化を実現しました。



### ◆平成21年度グッドデザインひょうご「産業・ビジネス部門賞」を受賞

「ヘイシンモノポンプ 薬注ユニット オールinワン」が平成21年度グッドデザインひょうご「産業・ビジネス部門賞」を受賞しました。「グッドデザインひょうご」とは、兵庫県内に事業所を有する企業・個人が製造販売する商品の中から、使う人の立場で開発された優れたデザインを選定する制度です。今回の選定審査では、薬品の注入量を正確にコントロールする新しい制御方式に加え、色彩によって区別されたユニット構成が作業の安全性とメンテナンス性を高めている点が、特に評価されました。



当社では、ISO14001マネジメントシステムに基づく社内環境監査チームによる「内部監査」と、外部機関による「外部監査」を毎年実施しています。

#### ● 内部監査

システム監査と遵法監査を重点とした監査を実施しました。

本年も重欠点、軽欠点は共になく、環境管理活動が継続できていることを確認しました。



#### ● 外部監査

外部機関による環境ISOの更新監査が、7月21日～30日の6日間にわたり、すべての拠点を対象に行われ、いずれの拠点においても不適合事項はなく、再認証を取得することができました。





当社のこの1年間の主な環境負荷低減活動をご紹介します。

## ● 製品組立工場に作業ルームを設置

製品組立工場内に空調を完備した作業ルームを設置しました。ポンプ組み立て作業と運転検査、仕上げ作業を行うスペースとして、工場内の30m×10mを囲ってひとつの部屋にしたものです。これにより、夏は汗をかき、冬は震えながら行っていた作業が、空調の利いた部屋で行えるようになり、作業環境が大幅に向上しました。床は断熱シート、窓にはペアガラスを使うなど、断熱性能を向上させ、省エネタイプの天井照明や地下水を利用した空調を採用した結果、空調を完備しても従来より消費電力が8%削減される見込みです。

また、来社されるお客様にも作業の様子を見ていただけるよう、前面を透明にして中が見えるようにするなど、斬新なデザインとなっています。



斬新なデザインの作業ルーム

## ● 技術研究所にファンコイルを増設



増設された天井埋込型のファンコイル

技術研究所にファンコイルを3台増設しました。これは、夏場の暑さ対策として昨年テスト場に導入したファンコイルの、冷却・省エネ効果が予想以上に高かったため、ホワイエ（玄関）周辺の冷房補助に拡大展開したものです。

ファンコイルは冷却源として豊富な地下水を利用しています。そのため、地下水を汲み上げる揚水ポンプと空気を送るファンのわずかな消費電力で大きな冷却効果を得ることができます。このファンコイルでホワイエ周辺の会議室等の冷房補助を行うことにより、技術研究所全体の電力使用量が1ヶ月あたり約900kWh削減されます。

## ● 環境・安全に配慮した新しい営業展示車

展示機を搭載する営業展示車2台が新たに完成しました。当社では従来から、お客様の目の前で実際に製品を動かして、モノポンプの優れた機能を実感していただく販促活動を展開していますが、今回その取り組みをより強化しました。

新しい展示車は、①浄水場への販売促進を強化する浄水営業展示車②食品分野での巡回活動に役立つACTカーの2種類です。

このうち、「浄水営業展示車」は、今年発売開始されたばかりの『葉注ユニット オールinワン』と、粉体移送用ポンプを搭載しています。この展示車は、駆動装置を軽量コンパクト化し、発電機は低騒音・低燃費のインバーター仕様を採用するなど、環境負荷低減を図っています。さらに運転席からの後方視界を十分に確保して、展示車運転時の安全にも配慮しました。



浄水営業展示車

## ● 「環境の日」に滋賀工場で環境大会を実施

昨年に引き続き、今年も『環境の日』(6月5日)に、滋賀工場において環境大会を開催しました。今年は昨年を上回る50名以上の参加を得て、社内の環境年次表彰と環境講演を行いました。講演会では、株式会社エコプランの田中様と、NPO法人ワット神戸の細見様にご講演いただきました。

エコプラン様は、近年滋賀工場の廃棄物の再資源化を依頼していますが、環境保全型エネルギーとして世間から注目を浴びている「RPF※」についてお話を頂きました。従来は埋め立てるか焼却するしかなかったゴミを燃料化することにより、化石燃料からの置き換えによるコストダウン(石炭の1/3)やCO2の削減に寄与できるという内容でした。

本社の省エネ診断をして頂いた、NPO法人ワット神戸の細見様からは、当日講演前に滋賀工場を視察いただいたことを踏まえ、工場でコストをかけずに推進できる省エネや、家庭で出来る身近なエコのアイデアを紹介頂きました。



株式会社エコプラン 田中様

※「RPF」：Refuse Paper & Plastic Fuel の略称。廃棄物の内、再資源化が困難な古紙及び廃プラスチック類を主原料とした固形化燃料。

当社は、モノポンプの製造・販売という事業活動を通して社会に貢献していますが、それ以外にも幅広く社会貢献活動に取り組んでいます。ここではそのいくつかの活動をご紹介します。

### ● インターンシップの学生を受け入れ

インターンシップ(企業就業体験)活動を希望する学生1名を、滋賀工場で受け入れました。今回受講された方は、様々な産業界で活躍するモノポンプの事業に興味を持ち、当社での研修を希望されました。研修は5日間実施され、モノポンプの概要や業務の流れ、営業活動等についての講義や、ポンプの組み立て実習等、幅広く学んでもらいました。研修を通じての感想では、「工場の整理整頓が良く出来ていて、社員の方も真面目な印象を持ちました。今後の勉強、就職活動に活かします」と語ってくれました。



組み立て実習の様子

### ● 市民救命士の講習実施



心臓マッサージを実習

神戸市防災安全公社から講師の方を招いての"市民救命士講習"が、10月に本社で行われました。これは、救急車が到着するまでの間、心臓が止まった人に対して行う人工呼吸と心臓マッサージ、AED※を用いた心肺蘇生法を身に付ける講習です。2年ほど前にも一度実施しましたが、新たな社員の入社や転勤で未受講の社員が増えてきたことから、再度本社社員全員を対象に行われました。今後も定期的な実施を検討していきます。

※AED:自動体外式除細動器。心臓の動きが止まったりした場合に、電気ショックを与えて正常な動きに戻すための医療機器。

### ● 高月町の小学6年生が滋賀工場を見学

滋賀工場の地元である高月町の小学校4校の6年生の児童の皆さん88人が、9月17日と18日の2日に分かれて滋賀工場を見学に訪れました。これは、高月町が「高月学園構想」の一環として、地元の小学5年生と6年生を対象に、中学進学をスムーズに行えるよう、町内の中学校で行っている集合学習の1つです。

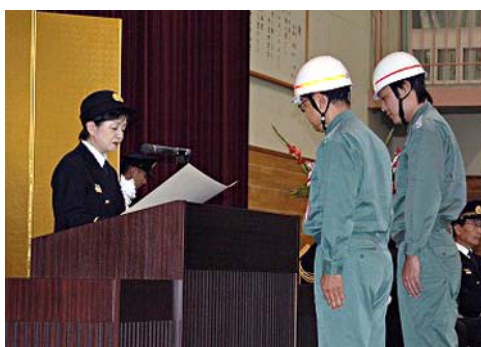
工場では、引率の先生とともに、DVDなどでモノポンプの仕組みを勉強した後、製造現場を見学し、さらに展示機で実際の動きを見てもらいました。

また、2、3月には長浜北星高校の生徒さん、合計92名が企業訪問で滋賀工場に来られました。機械加工工場やエラストマー成形工場では、先輩に当たる同校OBの社員の仕事の様子を近くで見ってもらう機会を設けました。



工場の展示機を見つめる小学生の皆さん

### ● 滋賀工場に県から優秀自衛消防隊表彰

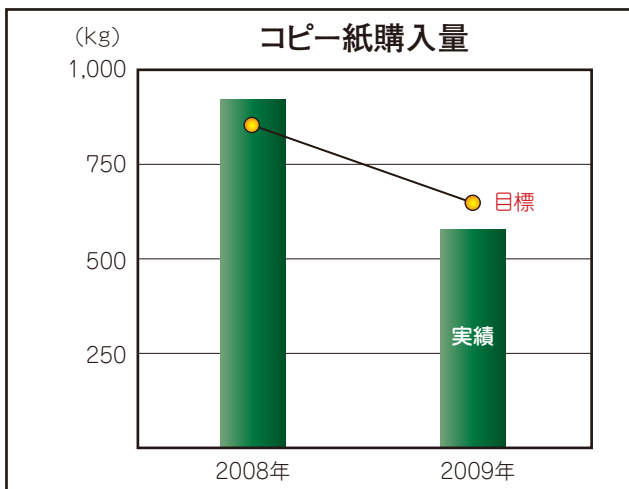
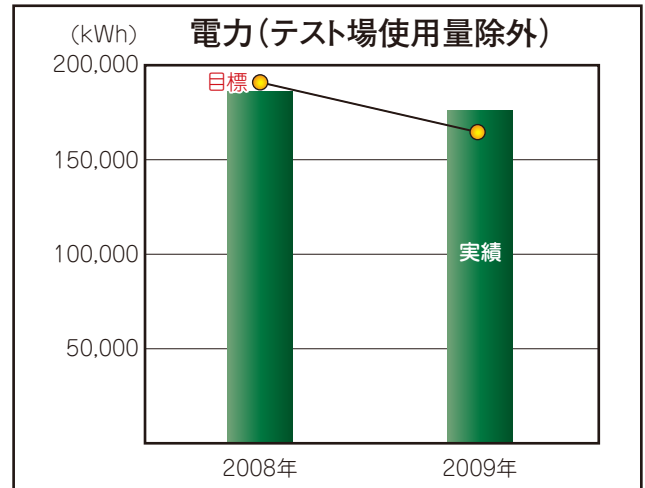
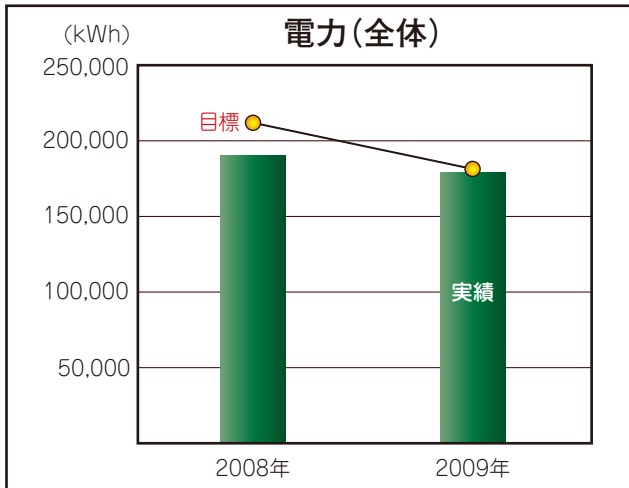


嘉田知事より表彰を受ける

第54回滋賀県消防大会が10月3日に開催され、当社の滋賀工場が滋賀県から優良自衛消防隊の表彰を受けました。これは、滋賀工場が火災訓練などを定期的実施しており、社員の消防意識も高いことが評価されたものです。

消防大会は、滋賀県甲良町にある甲良中学校講堂に県下の消防署員や消防団員の約850名が参加して行われ、当社が、受賞5社を代表して滋賀県の嘉田由紀子知事から表彰状と表彰旗を受け取りました。

環境側面	2008年		2009年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)(全体)	215,119	186,034	182,313	177,586
電力(kWh)(テスト場使用量除外)	187,312	181,295	164,465	177,551
コピー紙購入量(kg)	857.9	909.0	644.0	598.0

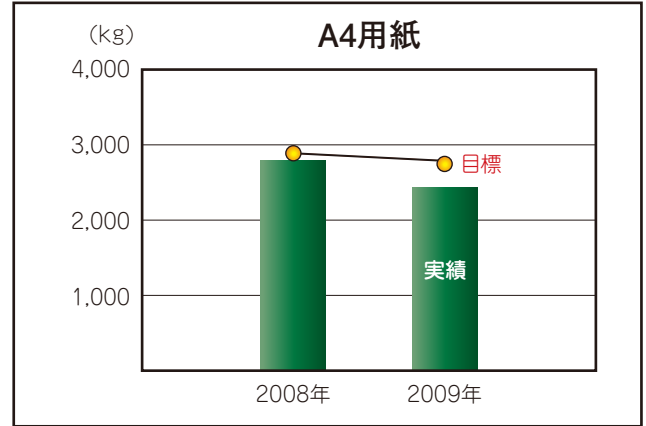
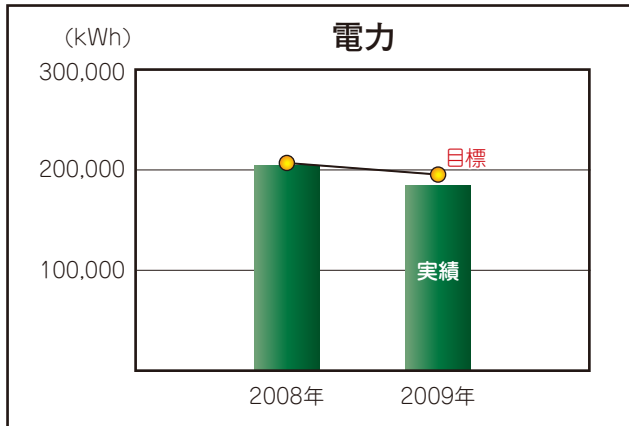


● 本社での取り組み

電力の削減については、11月以降本社のリニューアル工事が本格化し、ほとんどの土・日を工務店の事務所として終日使用していたため、これらの電力が付加された結果、トータルで昨年度実績より減少はしたものの、目標は未達となりました。

コピー紙購入量については、裏紙の使用や、電子化(PDF化)の徹底により、大幅な削減につながりました。

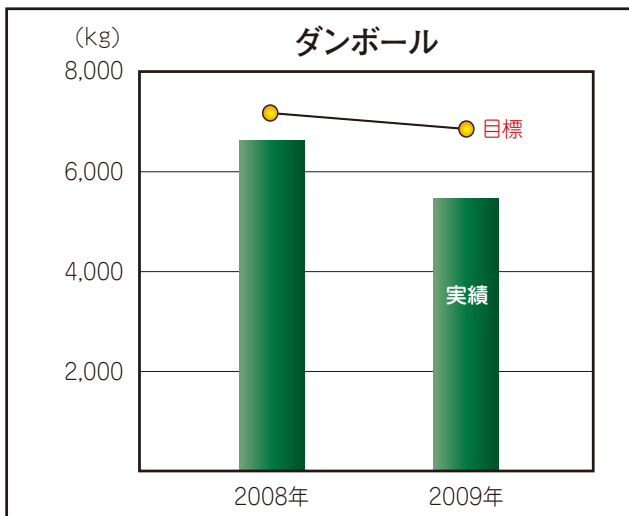
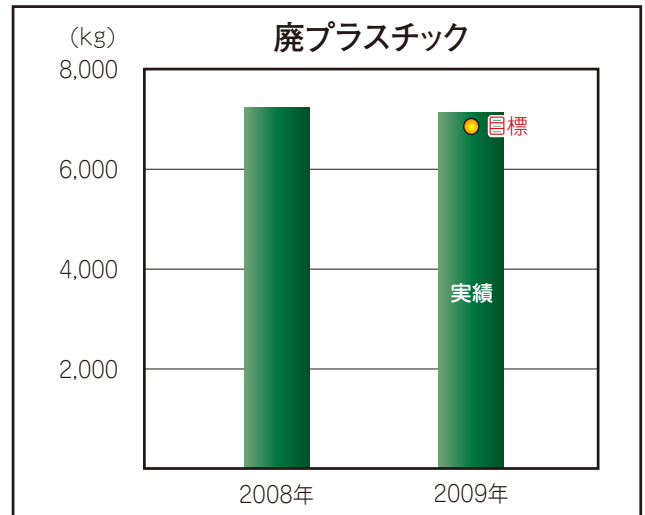
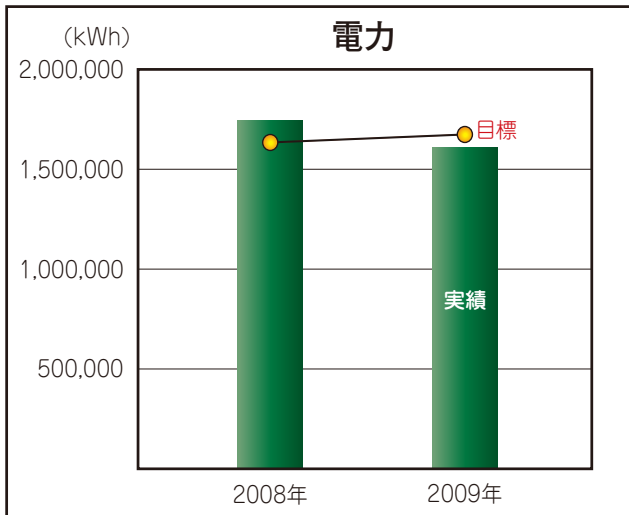
環境側面	2008年		2009年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	200,618	200,260	196,288	187,137
A4用紙(kg)	2,968.0	2,843.5	2,787.0	2,539.0



● 営業部での取り組み

目的・目標に掲げた電力・コピー用紙の削減は、いずれも達成できました。本年もこの取り組みを継続いたします。また、今後はこれに加えて、お客様の省エネに役立つモノポンプの特性を周知していただくための活動に注力していきます。

環境側面	2008年		2009年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	1,686,661	1,734,343	1,699,656	1,627,903
廃プラスチック(kg)	-	7,334	6,837	7,324
ダンボール(kg)	7,259	6,681	6,952	5,581



● 滋賀工場での取り組み

電力使用量、プラスチック廃棄量、ダンボール廃棄量の削減に取り組みました。電力使用量とダンボール廃棄量については削減されましたが、これは生産量の減少が大きな要因と考えられます。プラスチック廃棄量については、生産の変更により増加する結果となりました。エネルギー消費、廃棄物量はいずれも生産量との関連が大きいため、今後は原単位での評価を検討していきます。省エネ設備への更新については、計画通り進めることができました。

兵神装備の活動

世の中の動き

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 滋賀工場ISO14001認証取得に向けたエコプロジェクト発足/環境方針制定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 滋賀工場ISO14001認定取得</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境報告書2001発行</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全社に拡大してISO14001認定取得を目指すことに決定、全社環境綱領の制定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 拡張監査・滋賀工場更新審査</li> <li>• 全社ISO14001認定取得</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境報告書2004発行</li> <li>• 化学物質管理委員会発足</li> <li>• グリーン調達推進委員会発足、説明会開催</li> <li>• 化学物質管理規定発行</li> <li>• 製品/ハイシンロボディスプレイが「グッドデザイン賞・中小企業庁官特別賞」を受賞</li> <li>• 滋賀工場に環境適合機能を誇る技術研究所を開設</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境報告書2005発行</li> <li>• アスベスト不使用で代替品に切り替え、ホームページでもアスベスト不使用宣言</li> <li>• ノンタールエポキシ塗料、鉛フリー塗料に切り替え下水道事業団仕様に対応</li> <li>• 環境報奨規定を制定</li> <li>• 本社ビルを環境適合機能化ビルにリニューアル</li> <li>• 製品/ハイシンドラムポンプシステムが「グッドデザインひょうご大賞」を受賞</li> </ul>

1971
1979
1987
1991
1993
1995
1996
1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境庁設置</li> <li>• 省エネルギー法制定</li> <li>• モントリオール議定書採択/ラムサール条約採択</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 再生資源利用促進法制定</li> <li>• 環境基本法制定</li> <li>• 容器包装リサイクル法制定</li> <li>• 国際環境規格ISO14001発効</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3) 12月に京都にて開催、京都議定書採択</li> <li>• 環境アセスメント法制定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地球温暖化対策推進法制定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律)制定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境型社会形成推進基本法制定</li> <li>• グリーン購入法制定</li> <li>• 建設資材リサイクル法制定/食品リサイクル法制定</li> <li>• 資源有効利用促進法制定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境省発足</li> <li>• 家電リサイクル法施行</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• PRTR法完全施行</li> <li>• 土壌汚染対策法制定</li> <li>• エネルギー政策基本法制定</li> <li>• 地球温暖化対策推進法改正</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• WEEE(EU廃電気電子機器リサイクル指令)発効</li> <li>• RoHS(EU電気電子機器危険物質使用制限指令)発効</li> <li>• 首都圏ディーゼル車規制施行</li> <li>• 環境教育推進法施行</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 気候変動枠組条約第10回締結国会議(COP10 アルゼンチン)</li> <li>• 国際環境規格ISO14001-2004年版発行</li> <li>• 大気汚染防止法改正</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動車リサイクル法完全施行</li> <li>• 京都議定書発効</li> <li>• 日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県を舞台に開催</li> <li>• COP11 カナダ・モントリオールで開催</li> </ul>

兵神装備の活動

世の中の動き

- 環境報告書2006発行
- 滋賀工場・技術研究所で太陽光発電システムを稼働
- 製品/マグネットカップリング型一軸偏心ねじポンプが「発明大賞・発明功労賞」を受賞
- 神戸本社で太陽光発電システムを導入
- 製品/ハイシンロボディスベンサーシリーズに分解・洗浄性を高め、残液ロス低減の新製品をラインアップ
  
- 環境報告書2007発行
- 環境材料分科会を滋賀工場で開催(滋賀県東北部工業技術センター主催)
- サービスアネックス工場を環境に配慮してリニューアル
- 滋賀工場に環境最適機能を誇るハイシンテクノバルクテクニカルセンターを開設
- 本社の外構を環境に配慮してリニューアル
- 経済産業省より「元気なモノ作り中小企業300社」に選定
- 製品/脱水ケーキ圧送用途で環境に優しいNZF型ポンプを新発売
  
- ハイシン10年後ビジョン-i10がスタート
- 製品/ハイシンロボディスベンサーNDL型が「グッドデザインひょうご/産業・ビジネス部門賞」を受賞
- 滋賀工場オープンカンパニーを開催
- 製品/環境に優しいハイシンドラムポンプシステムのパールシリーズを新発売
- 6月5日を「兵神装備環境の日」として第1回環境大会を開催
- 滋賀工場に環境に配慮したサービス部品梱包場が完成
- 騒音や排ガスを低減した、大型展示車を製作
- 第3回発明大会にて「メタンハイドレードについて」記念講演実施
- 技術研究所に、地下水を利用した空調ファンコイルを設置
- エラストマー成形工場のトップライトに遮光カーテンを設置
- 省エネ診断を、本社および滋賀工場にて実施
- ハイシンドラムポンプシステムのパールシリーズが、(財)大阪デザインセンターのグッドデザイン商品に選定
  
- 技術研究所に、地下水を利用した省エネ型冷房装置、ファンコイルを増設
- 省エネや安全に配慮した新しい営業展示車を製作
- 昨年に引き続いて環境大会を開催し、省エネとリサイクルに関する講演会を実施
- 浄水場の薬液注入用ポンプ装置「ハイシンモノポンプ 薬注ユニット オールinワン」を発売
- 製品組立工場内に、作業環境を改善する「作業ルーム」を設置

- 2006
  - 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」及び「地球温暖化対策推進法」改正
  - アスベストに関連し、大気汚染防止法等3法改正
  - 廃棄物処理法一部改正
  - COP12 ケニア・ナイロビで開催
  - RoHS指令開始(EU)
  - REACH採択(EU)
  
- 2007
  - G8ハイリゲンダムサミット開催(ドイツ)
  - COP13 インドネシア・バリで開催
  - バリロードマップ採択
  - 食品リサイクル法改正
  - フロン回収破壊法改正
  
- 2008
  - 京都議定書約束期間スタート
  - 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」及び「地球温暖化対策推進法」改正
  - G8洞爺湖サミット開催(日本)
  - 化学物質に関する欧州連合(EU)の「REACH(リーチ)規制」が本格施行
  - 東京国際環境会議開催
  - 国連環境計画(UNEP)が「環境版ニューディール政策」を提唱
  - 相次ぐ異常気象
  - ミャンマーのサイクロン(5月)
  - カリブ海のハリケーン(9月)
  - 四川大地震(5月)
  - 全国型エコ・アクション・ポイント開始(環境省)
  
- 2009
  - <海外>
    - COP15/MOP5、コペンハーゲンで開催
    - 米国を中心に、環境分野への重点的な投資で景気回復や雇用創出を図る「グリーンニューディール」が始動
    - 「生物多様性及び生態系に関する政府間プラットフォーム(IPBES)」の設立準備が始まる
    - EUで、白熱電球の販売禁止令が発令される
    - 7月の世界の海水温が過去最高を記録
  - <国内>
    - 新型インフルエンザが流行
    - エコカー減税と高速道路料金上限1000円の割引を実施
    - 太陽光発電の買取制度、始動
    - エコポイントでグリーン家電の買い替え促進



Q1:この環境報告書をお読みになってどうお感じになりましたか。(1つだけ○をつけてください)

1. 読みやすさはいかがでしたか?

良い                      やや良い                      普通                      やや悪い                      悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

2. 内容はいかがでしたか?

良い                      やや良い                      普通                      やや悪い                      悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

3. 兵神装備の環境問題への取り組みはどう評価されましたか?

良い                      やや良い                      普通                      やや悪い                      悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

4. この環境報告書をお読みになって、物足りない内容や改善した方がよい点がありましたら、具体的にお聞かせください。

Q2:兵神装備の環境問題の取り組みについて、どのようなことをご希望されますか?具体的にお聞かせください。

Q3:この環境報告書をどのようなお立場でお読みになっていらっしゃいますか?

- 1.金融・投資関係 2.格付機関 3.行政関係 4.事業所近隣住民 5.製品購買関係 6.環境の専門家  
7.報道関係 8.企業の環境担当 9.学生 10.製品ユーザー 11.その他具体的に( )

**ご協力ありがとうございました。**

お差し支えない範囲でご記入をお願いいたします。

(ふりがな)  
お名前

ご住所 〒

ご職業・ご勤務先

TEL.

FAX.

E-Mail: